

## 背景・目的

- 急激な成長を続けるアジアの多くの地域では、都市化の進展や産業化の進展、生活様式の変化に伴う水質汚濁等の環境問題の発生が課題となっている。
- 途上国における深刻な衛生状況や水環境問題の改善を支援し、持続可能な開発目標（SDGs）達成に寄与することが求められている。
- 「インフラシステム輸出戦略」（平成25年5月17日）において、我が国の優れた水処理技術の海外展開を支援するとして「アジア水環境改善モデル事業」が位置づけられている。（成長戦略の一環）
- 我が国民間企業が有する、かつての激甚な水質汚濁問題を克服する過程で培われた技術やノウハウを、現在アジア諸国が直面している課題解決に活用し、日本を含むアジア全体の持続可能な経済成長のエンジンとすることが重要。アジア水環境パートナーシップ事業（WEPA）とも連携し、より戦略的にアジアの水ビジネスへの参入機会拡大を図る。

## 事業概要

本事業は、水処理技術等の海外展開事業を公募し、応募された技術提案のなかから技術力と実現性が高い提案を、有識者委員会で採用し、「水環境改善に関する実施可能性調査」、「現地実証実験」を現地企業を対象に行うことで、ビジネスモデルを構築し、アジア各国におけるビジネスモデル形成を支援する。

## 期待される効果

- ① 支援した事業の海外ビジネス展開への発展
- ② モデル事業を通じ得られた知見に基づき、水処理技術海外ビジネス推進戦略を策定
- ③ 事業成果を国内企業に還元することによる水処理技術の海外展開活性化
- ④ 上記を通じた海外の水環境改善

## 事業目的・概要等

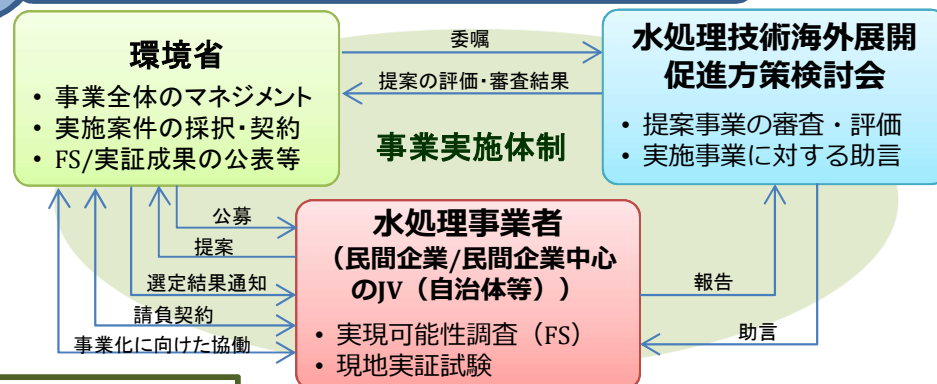
## イメージ

### 水処理技術等の海外展開事業を公募

水環境改善事業

工場排水処理  
中小規模生活排水処理（浄化槽等）

モニタリング  
水域直接浄化



### 実施可能性調査(FS)

予算使途：人件費、旅費、調査・分析費等

- 事業計画の作成

### 現地実証試験

- 「効果を見せて売る」スタイル

### ビジネスモデル構築へ



アジア水環境改善ビジネスセミナー  
(H28.4.21 於東京、約94名(60社)が参加)

- 様々な国における多様な形態のビジネスモデル形成を支援

モデル事業のサイクルを通じ以下の事項を実施する。

- ① 海外展開対象国の情報収集・分析
- ② ビジネス化に向けた課題抽出
- ③ ビジネスモデル構築に向けた取り組み  
(相手国政府への働きかけ、現地セミナーの開催、現地企業への売り込み、等)
- ④ 事業実績の構築、水平展開